

将来の養蚕経営者 募集

～地域、ベンチャー企業と連携した蚕・シルクの生産供給拠点を目指す～

北上市は、岩手県内陸南部に位置する人口約93,000人のまちです。仙台藩と南部藩の境にあった当地は、多くの人々の行き交う交通の要衝として発展しました。現在では、東北新幹線、東北・秋田自動車道が整備されるなど、「北東北の十字路」として企業の進出が相次いでいます。

当市の北東部にある更木^{さらき}地域において、養蚕技術を活用した新たな産業の創出と地域活性化を目指すプロジェクトが始まっています。



北上川と和賀川の合流点（北上駅付近）

ミッション：北上市でかつて盛んだった養蚕を復活・再生させ、日本初となる健康食品向けの蚕・シルク生産供給拠点を構築

更木地域は北上市内全16地域のうち北東部に位置し、人口約1,200人の地域です。この地域ではかつて蚕（カイコ）を飼育し、繭を生産する養蚕業が盛んでしたが、時代の流れとともに衰退し、蚕の餌である桑畑も放置されていました。これを活用しようと、平成21年に㈱更木ふるさと興社が設立され、「更木桑茶」の製造販売を中心に事業を進めています。桑の持つ成分は健康への作用が注目されており、「更木桑茶」は、市内外から地域の名産品として知られるようになっていきます。

一方、養蚕業は、これまで絹織物の原料として生糸生産が営まれてきましたが、近年、蚕やシルクに含まれる成分の健康や美容に与える効果が注目され、健康食品や化粧品等として需要が高まってきています。



活動拠点となる㈱更木ふるさと興社



桑葉を食べる蚕（カイコ）

更木地域では、北上市内に唯一残っていた養蚕農家が平成28年に廃業してしまい、飼育技術や生産基盤が失われようとしています。このため、㈱更木ふるさと興社と岩手大学発ベンチャーの㈱バイオコクーン研究所が連携して行うプロジェクト「モスラ復活大作戦」が平成30年度から始動しました。本格始動に伴い、㈱更木ふるさと興社は、健康食品等に提供する蚕の飼育に取り組みはじめ、また、㈱バイオコクーン研究所は、平成30年9月に製薬会社の傘下に入り、これまで以上に蚕の研究開発に力を入れていくところです。健康食品としての活用以外にも、国産シルクの復活に向けた新たな動きも出てきており、養蚕業の復活・再生に向けた動きが加速してきております。㈱更木ふるさと興社をはじめとした関係機関と一体となって、健康食品等の新たな産業の創出や地域活性化につなげていきたいと考えています。

将来の養蚕経営者（地域おこし協力隊）の役割

地域おこし協力隊には、㈱更木ふるさと興社に新たに立ち上った養蚕事業部門との協働により、次の活動に取り組んでいただきます。

①養蚕技術の習得による飼育・生産の確立

着任後は養蚕の専門家と㈱更木ふるさと興社に指導を受けながら蚕の飼育を行い、養蚕技術を習得します。健康食品向け繭生産は従来の養蚕とは異なることから、技術改良をしながら安定的な生産体制の構築を目指します。

②養蚕体験プログラム企画等の実施

㈱更木ふるさと興社が現在行っている養蚕体験プログラムを発展させることで、市外県外から人を呼び込み、交流人口増加と養蚕文化の普及を目指します。

③新商品の開発

生産された蚕やシルク、桑を利用した付加価値のある新商品の開発に取り組み、収益となる事業の立ち上げを目指します。



子ども達で賑わう養蚕体験イベント

<p>活動概要</p>	<p>㈱更木ふるさと興社が受入れ団体となり、養蚕に関わる次の活動に取り組んでいただきます。</p> <p>①養蚕技術の習得による飼育・生産の確立 ②養蚕体験プログラム企画等の実施 ③新商品の開発</p> <p>※①の飼育・生産が活動の中心であり、②と③については着任する隊員のスキルや特性に合わせて取り組んでいただきます。</p> <p><委嘱期間終了後のイメージ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・委嘱期間内で培った技術を活かして、養蚕農家として独立 ・養蚕事業担当として、㈱更木ふるさと興社や関連企業に就職し、継続して活動を実施
<p>募集対象</p>	<p>(1)年齢が概ね20代から40代の方（性別は問いません） (2)現在、三大都市圏又は地方都市等（過疎、山村、離島、半島等の地域に該当しない市町村）に居住し、委嘱後に住民票を北上市に異動し、居住できる方 (3)蚕を扱うことが大丈夫な方 (4)普通自動車運転免許を取得している方（自家用車両を所有している方歓迎） (5)パソコンを日常的に使用している方（基本的なパソコン操作ができる方）</p>
<p>募集人数</p>	<p>2名</p>
<p>勤務地</p>	<p>北上市内 ※㈱更木ふるさと興社を活動拠点とします。 住所 北上市更木22地割9番地2</p>
<p>勤務時間</p>	<p>月20日 1日8時間程度 休日・休暇は受入れ団体の取り扱いに準じることとします。</p>
<p>雇用関係</p>	<p>無 ※隊員と受入れ団体との円滑な連携や、隊員の自立に向けた自主的な活動を推進するため、隊員と市の間で雇用契約を結ばないこととしております。</p>
<p>活動形態・期間</p>	<p>(1)北上市から北上市地域おこし協力隊隊員として委嘱します。 (2)平成31年4月以降の委嘱開始とし、通算3カ年の活動を予定しています。委嘱開始日は、事情に合わせて相談に応じます。</p>
<p>報酬等</p>	<p>月額200,000円を報償費として支払います。ただし、月の勤務日が20日未満となった場合は、活動日数に日額10,000円を乗じた金額とします。</p>
<p>待遇等</p>	<p>(1)次の活動経費について、市と隊員が協議の上、予算の範囲内で補助します。 ・市内での住居借上げ費用（光熱水費等は対象外）</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に必要な自動車やパソコン等の借上げ費用 ・活動車両の燃料費 ・活動に要する消耗品費 ・活動にかかるイベント経費等 ・活動にかかる旅費 ・研修参加費及び旅費 ・その他市長が必要と認める経費 <p>(2)委嘱期間終了日の前後1年間において、北上市内での起業に係る経費を上限100万円の範囲内で補助します。</p>
選考の流れ	<p>選考は、市と受入れ団体が協働で行います。</p> <p>第一次選考 書類審査</p> <p>第二次選考 面接（農林部長、農林企画課長、受入れ団体の長等）</p>
選考について	<p>最終選考の面接の際には、どのような事業に取り組みたいか発表していただき、下記の3点から判断し、採用を決定します。</p> <p>(1)事業性（事業の実現性・継続性、これまでの実績等）</p> <p>(2)地域への波及効果（地域資源の活用、交流人口の増加等）</p> <p>(3)地域との親和性（受入れ団体と更木地域の特性に合っているか等）</p>
備 考	<p>(1)隊員のスキルアップのため、全国の隊員が集まる研修会等に参加できます。</p> <p>(2)活動期間中において、委嘱期間終了後に北上市に定住するための活動として、市に事前相談の上で起業等に繋がる副業を行うことができます。</p> <p>(3)北上市での生活及び活動に関して、相談支援を行います。</p> <p>(4)隊員の活動については、定期的に市役所内の関係部署で共有するとともに、広報等でその活動を周知し、隊員が活動しやすい環境づくりを行います。</p>